

## 病院勤務医負担軽減策について

### 第1 「勤務医の負担の現状と負担軽減のための取組に係る調査」について

病院勤務医の負担となっている具体的な項目や改善策、医療機関における勤務医負担軽減策への取組状況を把握するため、平成20年度検証部会調査に引き続き、平成21年9月に「勤務医の負担の現状と負担軽減のための取組に係る調査」を実施した。今回の調査では入院時医学管理加算等、勤務医の負担軽減策の策定を要件とした加算を算定していない医療機関も対象とした。(参考資料 P2~4)

#### 1. 勤務医負担軽減の取り組みの現状について

医療機関に対する調査で、勤務医の勤務時間を把握している医療機関は89.0%であった。勤務医の業務量の把握を行っている医療機関は55.8%、勤務医の勤務状況を把握・管理するための責任者を設置している医療機関が49.8%であった。調査対象医療機関の66.2%が勤務医の経済的処遇の改善を行っていた。(参考資料 P5~12)

#### 2. 患者や家族への説明について

通常の診察とは別に、患者や家族との話し合いに費やす時間については、入院診療で平均30.5分、外来診療で平均19.0分であり、70.6%の医師が増加したと回答した。その理由としては、複数の家族が説明を求めため、説明時間の設定が家族の都合で決まるため等があった。話し合いについて、「非常に負担が大きい」「負担が大きい」と回答した医師が55.4%を占めた。(参考資料 P13~16)

#### 3. 勤務医が患者に協力して欲しい内容

患者に協力してほしいことの有無について、医師の88.5%があると回答した。内容としては①軽症の場合は近隣の診療所を受診してほしい(79.4%)、②軽症の場合は休日・夜間の受診は避けて欲しい(81.1%)、③業務多忙の時には、患者説明の実施を医師のスケジュールに合わせて欲しい(58.8%)、といったものがあつた。(参考資料 P17)

#### 4. 勤務医の勤務状況について

診療科ごとの勤務時間は、外科で58.6時間と最も長かつた。当直回数は外科が1ヶ月あたり5.8回で最も多く、産科・産婦人科、

脳神経外科等が続いて多かつた。勤務状況については、精神科、眼科を中心に、悪化したという回答が比較的多く見られた。業務区分ごとの負担感では、当直、院内の診療外業務、時間外の外来診療や救急外来において負担感が強かつた。勤務医負担軽減を要件とした加算の算定のある医療機関の勤務医の勤務状況を加算なしと比較すると、加算の算定のある医療機関において、改善したという割合が比較的多く、悪化したという割合が比較的少なかつた。(参考資料 P18~33)

### 第2 宿題事項について

宿題1 平成20年度改定で新設した入院時医学管理加算により、病院勤務医負担軽減にどのような効果があつたのか。

1 入院時医学管理加算算定施設においては、他の施設と比較して、以下の項目に取り組んでいる割合が高かつた。(参考資料 P35)

- ①医師、看護師等との業務分担
- ②短時間正規雇用の医師の活用
- ③当直後の通常勤務に係る配慮
- ④経済面での処遇改善

2 入院時医学管理加算算定施設の勤務医師において、以下の傾向が見られた。(参考資料 P36~38)

- ①1年前と比較した現在の勤務状況が改善した、どちらかという改善したという回答が、算定していない施設と比較して多かつた。
- ②入院診療、外来診療のいずれにおいても、1年前と比較して業務負担が軽減したという回答が、算定の内施設と比較して多かつた。
- ③基本給、手当等が増加したと回答した割合が算定していない施設と比較して多かつた。

宿題2 勤務医負担軽減に関して、取組みを行っている横須賀市立市民病院、済生会栗橋病院、藤沢市民病院について、①これらの医療機関はどのように選定したのか。また、②前回の改定により何らかの効果があつたのか。

### 1 横須賀市立市民病院

- ①事務局において、入院時医学管理加算の算定施設の届出の際の必要書類である「勤務医負担軽減計画」を地方厚生局より取り寄せて検討した結果、前向きな取組みを行っていると考えられたため選定した。
- ②医師の平成 20 年度における平均時間外勤務時間は前年と比較して 12.3%減少した。  
なお、勤務医負担軽減策として、
  - ・医師と看護師等との役割分担の見直し
  - ・助産師の積極的な活用(助産師外来、院内助産の推進)
  - ・事務職による診断書、主治医意見書等の作成補助(医療クラークの配置)
  - ・短期間正規雇用医師の活用
  - ・医療機能の分化と外来縮小の推進(初診患者の診療を主とした土曜外来の閉院)等の取組を行っている。

### 2 済生会栗橋病院

- ①医療系雑誌等に医師事務作業補助者の活用に関し、先駆的な取組みを行っている医療機関として掲載されていたことから、調査対象医療機関として選定した。
- ②平成18年より医療秘書を導入したところ、医師の時間外労働時間の減少(時間外手当も減少)、診断書作成までの日数短縮等の効果が見られた。  
医師事務作業補助体制加算の創設により年間数千万円の増収となっており、より多くの医療クラークを配置したいと考えている。

### 3 藤沢市立市民病院

- ①交代制勤務を導入している医療機関として有名であったため、調査対象医療機関として選定した。
- ②交代制勤務の導入により、救急外来を中心に、外来患者数の増加が見られた。医師を多数雇用することにより人件費は増加したが、救急外来の稼働による収益が支出の増加を補っている。(参考資料P39)

### 第3 論点

- 1 病院勤務医の勤務負担軽減のために、医療機関が勤務医の勤務負担状況を把握し、勤務医負担軽減策を作成・周知し、適切な方策を取れるように診療報酬上の工夫を行うことについて、どう考えるか。(参考資料 P5～12)
- 2 病院勤務医の勤務負担軽減のために、複数の家族が説明を求めた場合や、患者側の都合による時間外の病状説明について、患者や家族に協力をお願いする方策を取ることについてどう考えるか。(参考資料 P12～16)
- 3 病院勤務医の勤務負担軽減のために、軽症の患者が自己都合(仕事等)により救急病院等を時間外に受診した場合について、患者に協力をお願いする方策を取ることについてどう考えるか。(参考資料 P17)

# 参考資料

## 勤務医負担軽減策について

### 「勤務医の負担の現状と負担軽減のための取組に係る調査」

#### 「勤務医の負担の現状と負担軽減のための取組に係る調査」の概要

1. 目的
  - ・病院勤務医の負担となっている業務や改善すべき項目等の把握
  - ・医療機関における勤務医負担軽減策の取組状況や効果等についての実態把握

2. 調査対象
  - ・本調査は「施設票」、「医師票」の2種類から構成されている。
  - ・調査対象は以下のとおり。
  - 【施設票】
    - ・施設調査は入院時医学管理加算の届出を行っている全医療機関、及び全国の救急受入れの多い医療機関のうち都道府県別に無作為に抽出された1,100施設を対象とする。
    - 入院時医学管理換算 届出施設数 175施設
    - 全国の救急受入れの多い医療機関 925施設
  - 【医師票】
    - ・「施設票」の対象医療機関の9診療科に所属する管理者1名、経験年数別に3名、合計4名(1施設当たり36名、合計39,600名)を対象。

#### 3. 回収状況

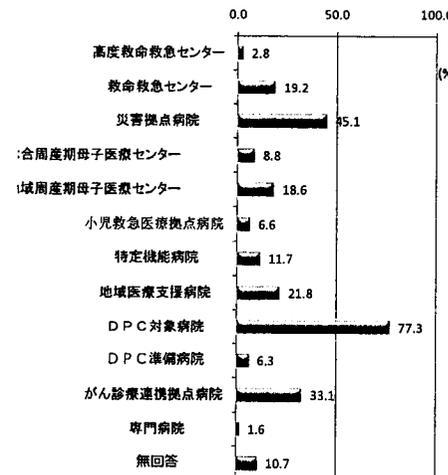
調査種別	発送数	有効回収数	回収率
施設票	1,100件	317件	28.8%
医師票		1300件	

※平成21年9月に調査を行った。上記は平成21年10月30日現在の回収途中の状況

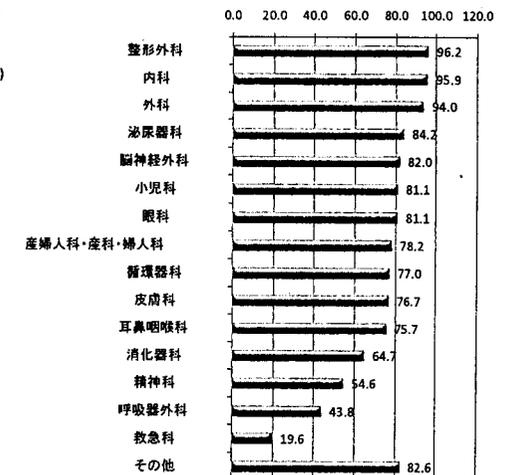
#### 調査対象施設の概要

##### 施設調査

承認等の状況(n=317)



標榜診療科(n=317)



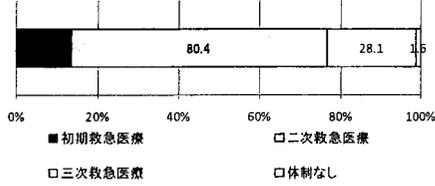
## 調査対象施設の概要

### 施設調査

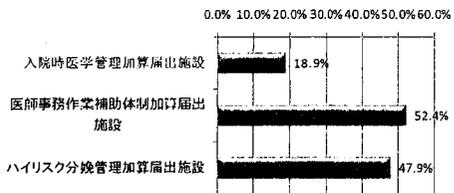
病床構成

	調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
一般病床	316	412.26	241.73	0	1475
療養病床	313	7.23	22.51	0	167
精神病床	313	12.94	29.66	0	220
結核病床	313	2.91	11.11	0	100
感染症病床	313	0.96	2.4	0	20
合計	317	437.17	251.56	30	1505

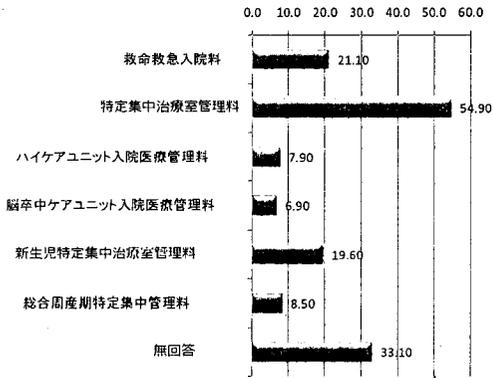
救急体制(n=317)



加算の届出状況(n=317)



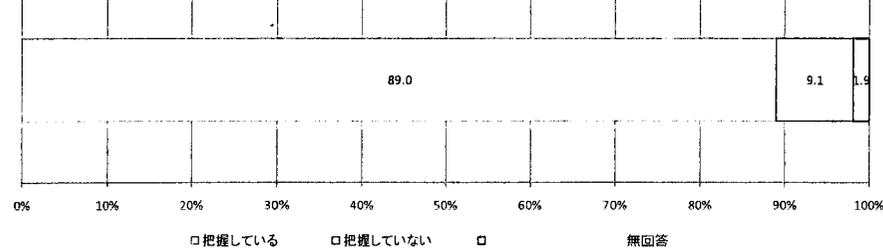
特定入院料の算定状況(n=317)



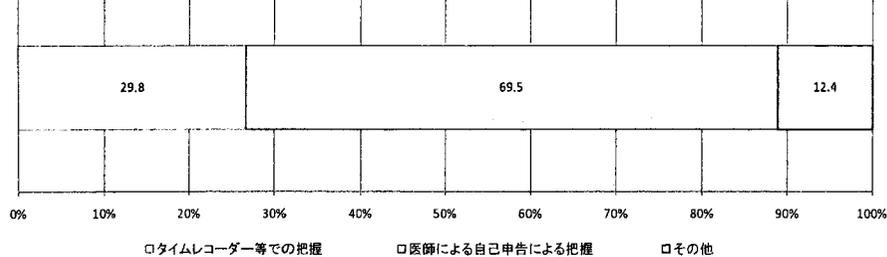
## 医療機関の勤務医の勤務時間の把握について

### 施設調査

従事する勤務医の勤務時間の把握の有無(n=317)



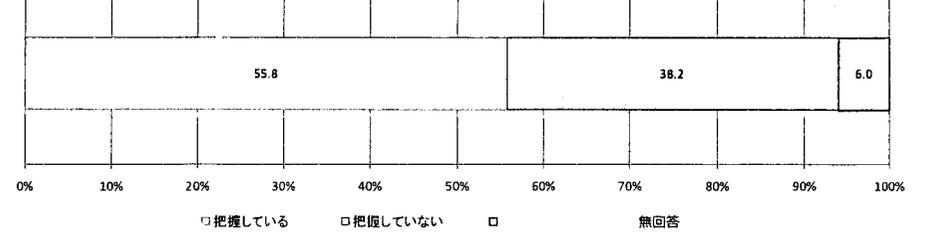
勤務時間の把握の方法(n=282)



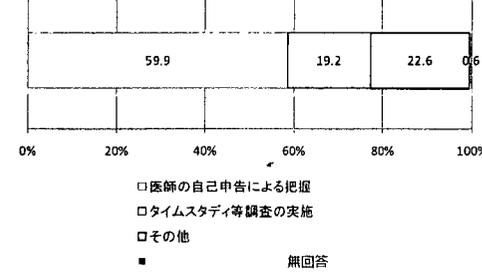
## 医療機関の勤務医の業務量の把握について

### 施設調査

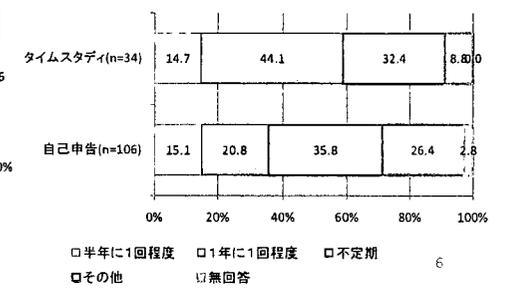
従事する勤務医の業務量の把握の有無(n=317)



従事する勤務医の業務量の把握の方法(n=177)



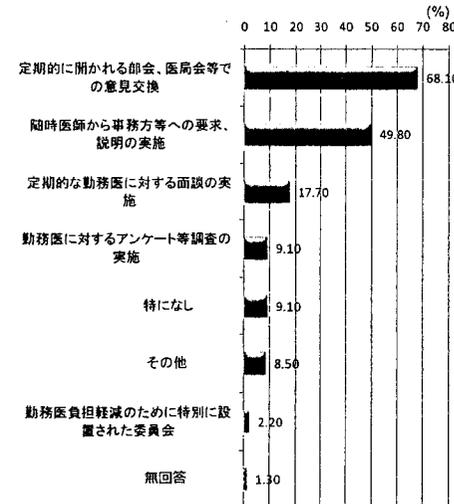
業務量を把握する頻度



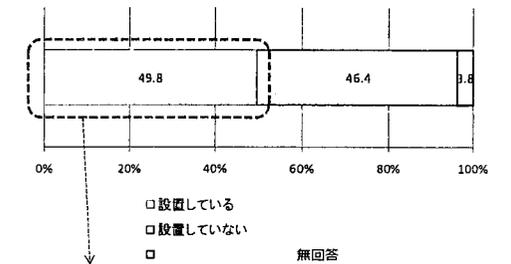
## 医療機関の勤務医の勤務状況管理の体制

### 施設調査

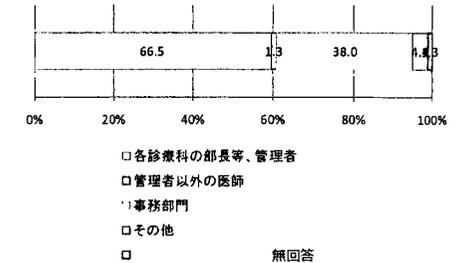
業務実態や要望を吸い上げる仕組み(n=317)



医師の勤務状況を把握・管理するための責任者の設置(n=317)



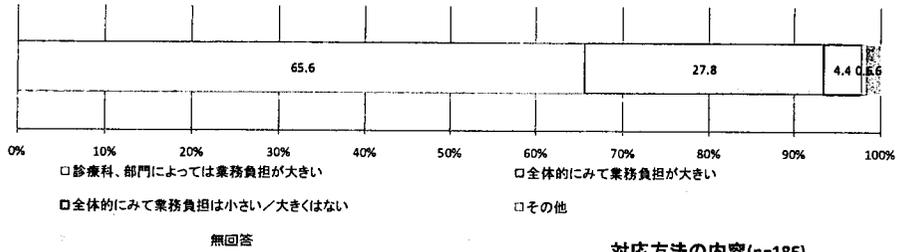
設置されている場合の責任者(n=158)



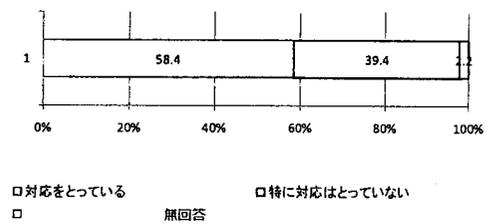
医療機関の勤務医の勤務状況管理の体制

施設調査

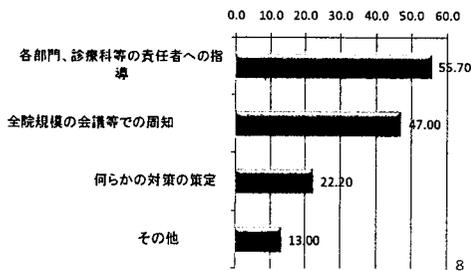
勤務医師の勤務実態についての認識(n=317)



勤務状況を踏まえた対応の有無(n=317)



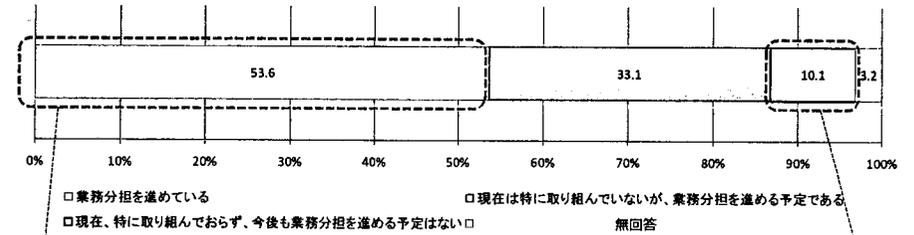
対応方法の内容(n=185)



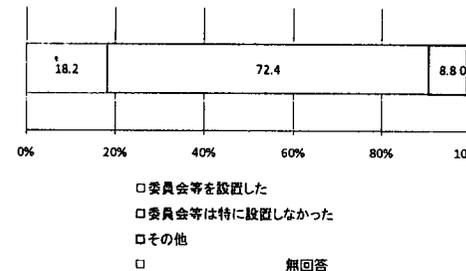
医療機関の勤務医の勤務状況管理の体制

施設調査

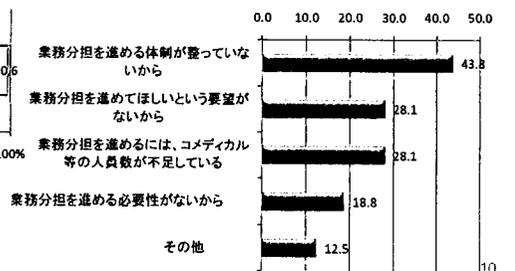
業務分担の取組み状況(n=317)



多職種間での検討の場の設定(n=170)



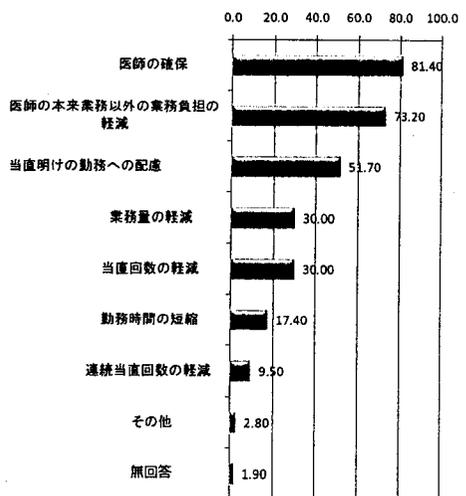
業務分担を進めない理由(n=32)



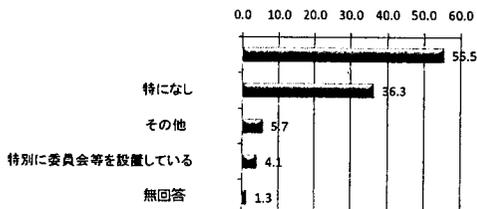
医療機関の勤務医の勤務状況管理の体制

施設調査

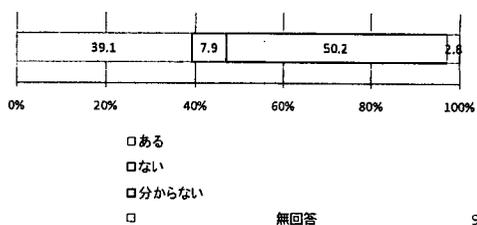
勤務医負担軽減のために今後必要な対策(n=317)



勤務医負担軽減の対策策定のための院内体制(n=317)



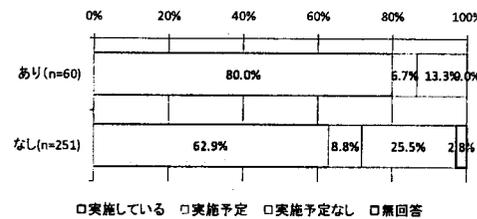
勤務医負担の状況の定期的な評価、見直しの予定(n=317)



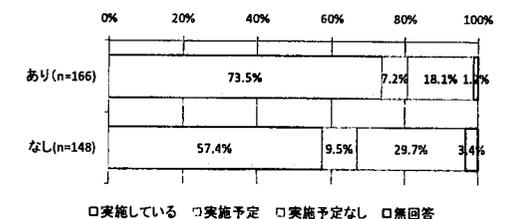
医師に対する経済的処遇の改善状況(加算の届出状況別)

施設調査

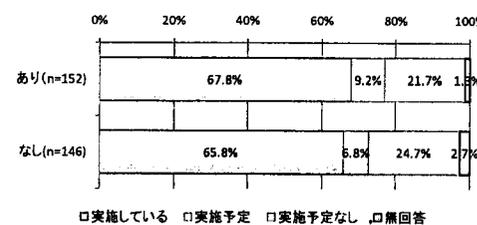
入院時医学管理加算届出状況別 勤務医の経済的処遇改善の状況



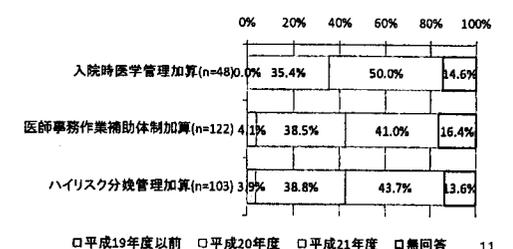
医師事務作業補助体制加算届出状況別 勤務医の経済的処遇改善の状況



ハイリスク分擔管理加算届出状況別 勤務医の経済的処遇改善の状況



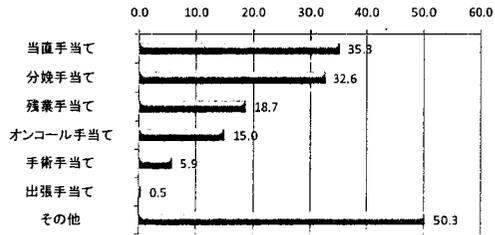
処遇を改善した年度



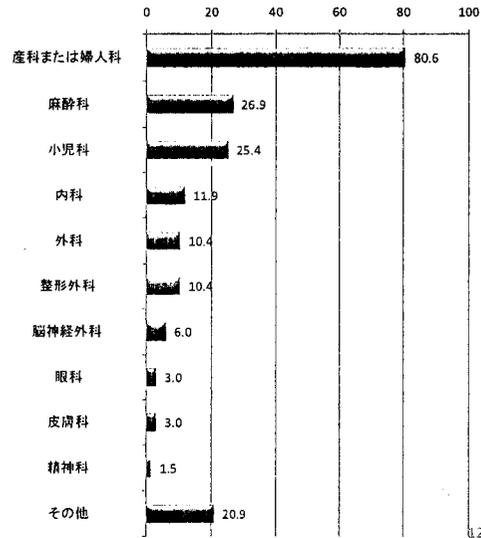
医療機関の勤務医の勤務状況の管理体制

施設調査

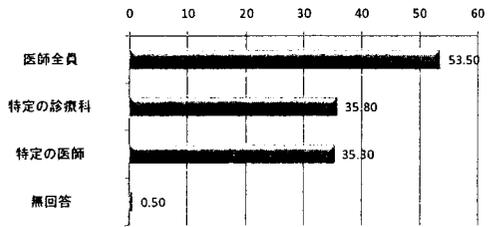
増額した手当の内容(n=187)



手当を増額した診療科(n=67)



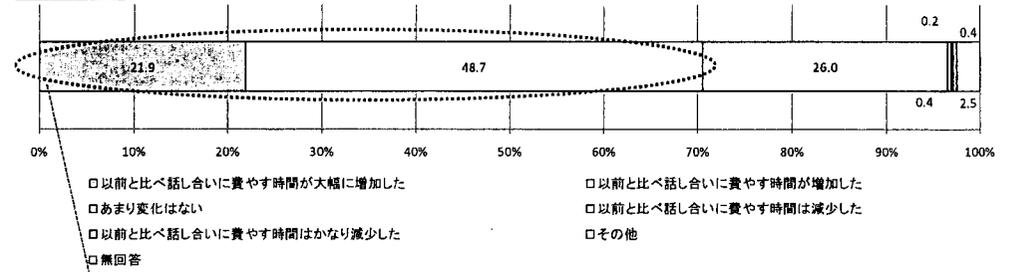
手当増額の対象とした医師(n=187)



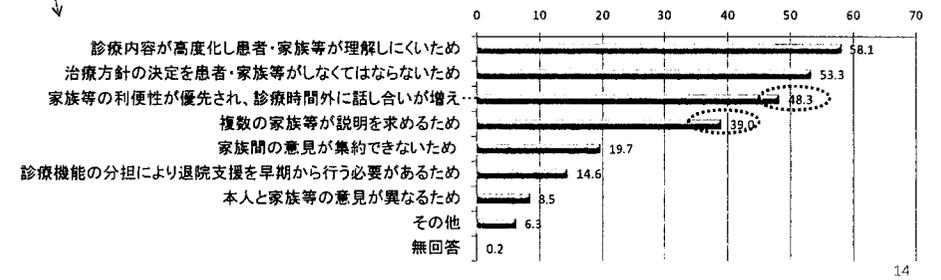
話し合いに費やす時間の変化

医師票

話し合いに費やす時間の変化(n=1,300)

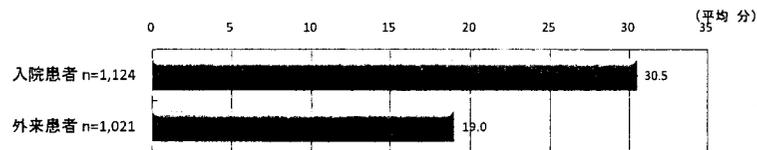


話し合いに費やす時間が増加した理由(n=918)



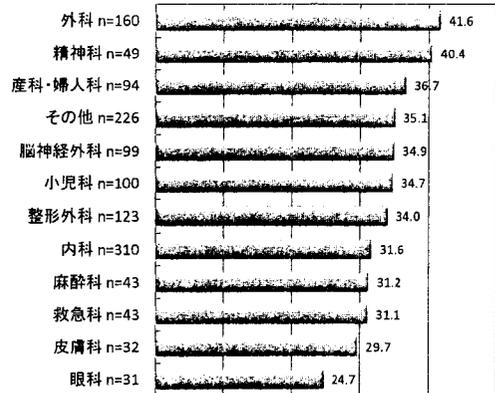
患者1人1回当たり話し合いに費やす時間

医師票



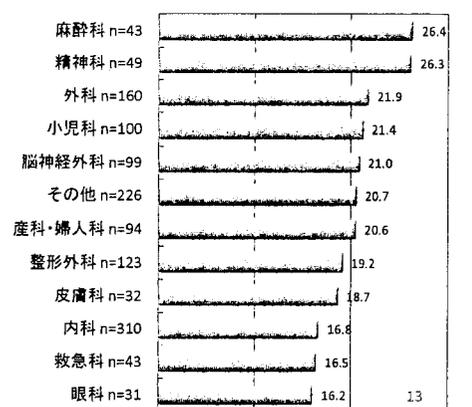
入院

(平均 分)



入院外

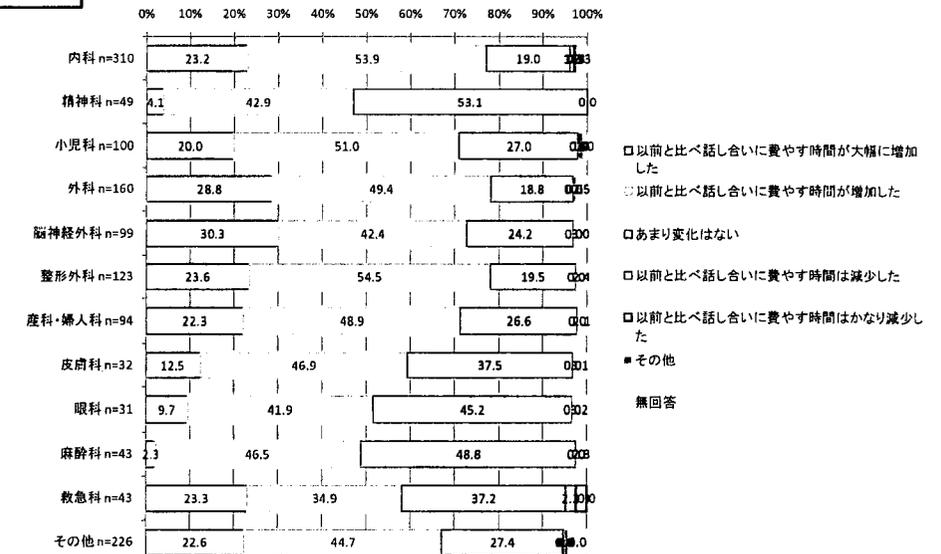
(平均 分)



※通常診療における説明とは別に、話し合いを設けて話し合う場合の時間

診療科別話し合いに費やす時間の変化

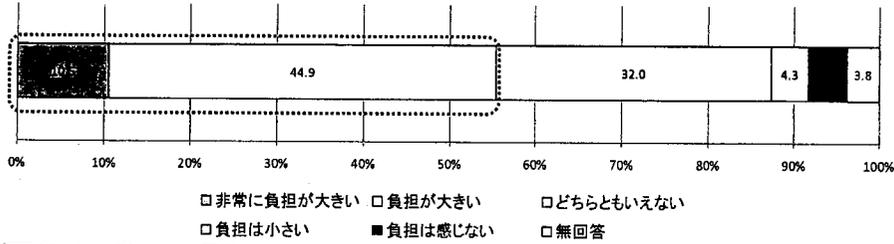
医師票



話し合いに対する負担感

医師票

話し合いに対する負担感(n=1,300)



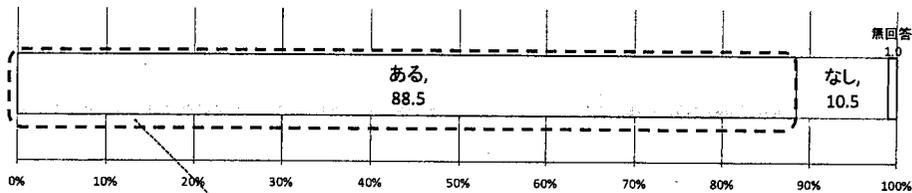
1週間当たりの話し合いの回数

		平均(回)	割合(%)
入院	治療方針に関する話し合いを行った患者数(n=1,157)	4.36	
	(内)夜間・休日等の診療時間外に話し合いを求められた人数(n=1,042)	1.44	33.0%
	(内)2回以上の話し合いを求められた人数(n=994)	0.91	20.9%
外来	治療方針に関する話し合いを行った患者数(n=1,119)	5.73	
	(内)夜間・休日等の診療時間外に話し合いを求められた人数(n=950)	0.61	10.6%
	(内)2回以上の話し合いを求められた人数(n=916)	0.51	8.9%

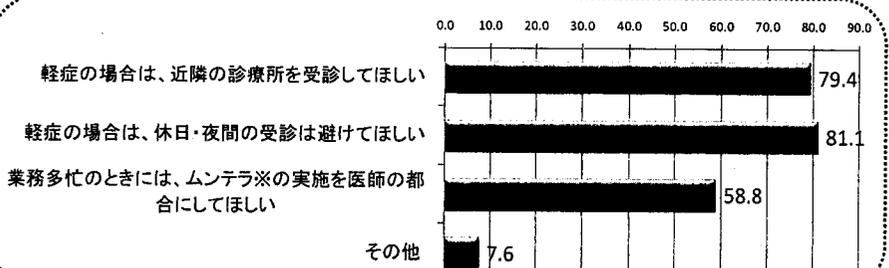
患者に協力してほしいことの有無

医師票

患者に協力してほしいことの有無(n=1,300)



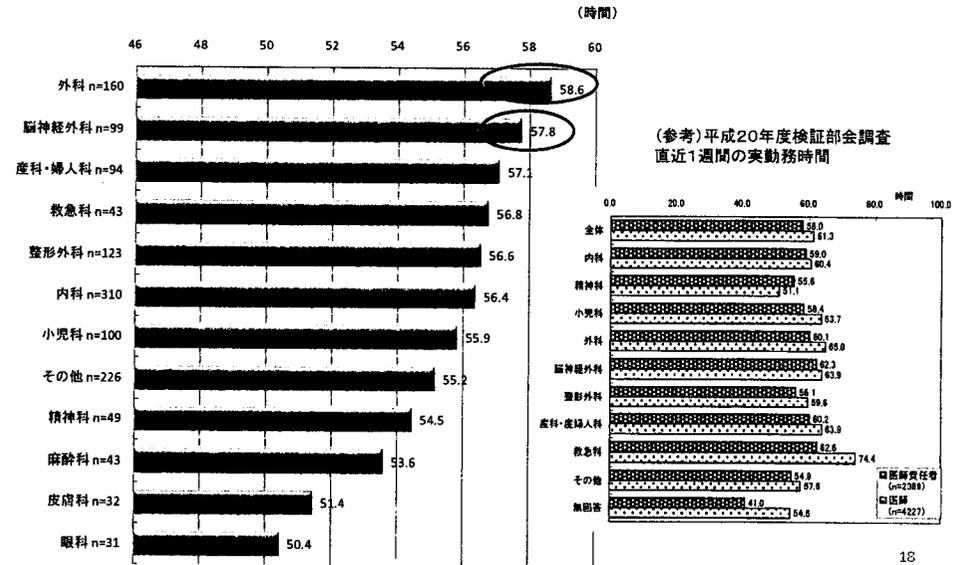
協力してほしい内容(n=1,150)



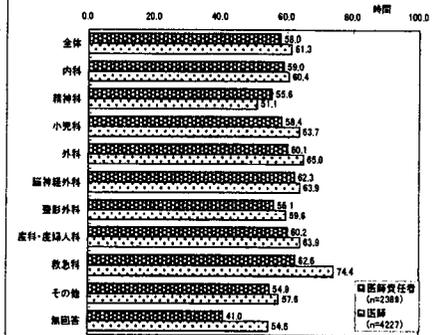
※ 患者・家族へ病状や治療方針等について説明を行うこと

診療科ごとの勤務時間

医師票

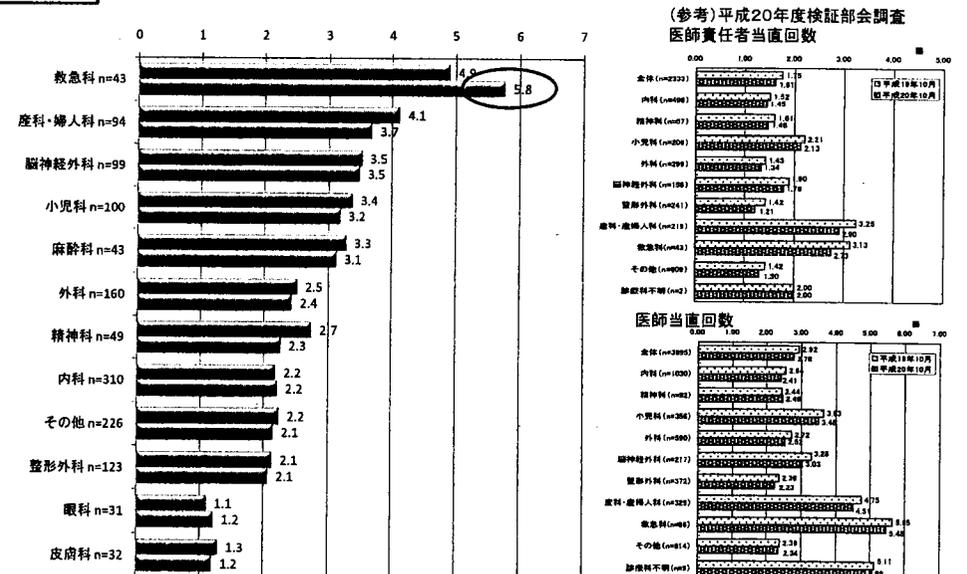


(参考)平成20年度検診部会調査  
直近1週間の実勤務時間

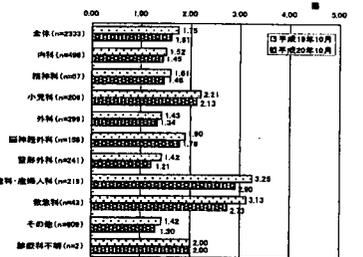


診療科ごとの当直回数

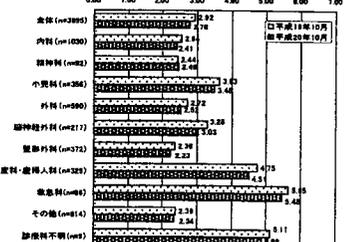
医師票



(参考)平成20年度検診部会調査  
医師責任者当直回数

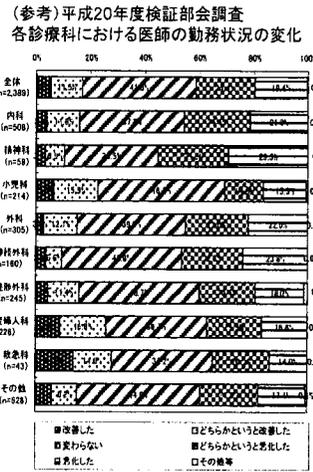


医師当直回数



1年前と比較した医師個人の勤務状況の変化

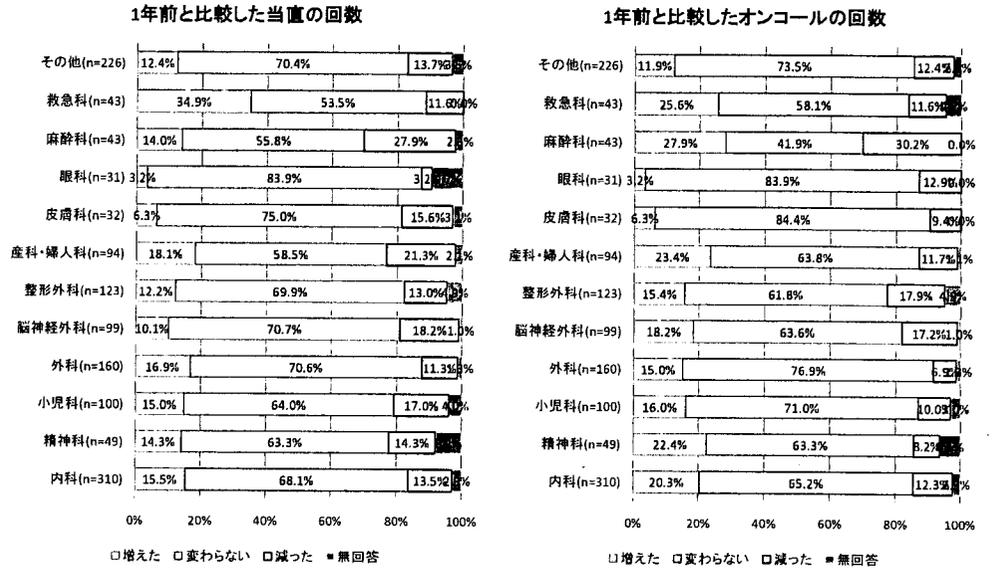
医師票



※検証部会調査では医師責任者に当該診療科の状況について包括的に聞いている。

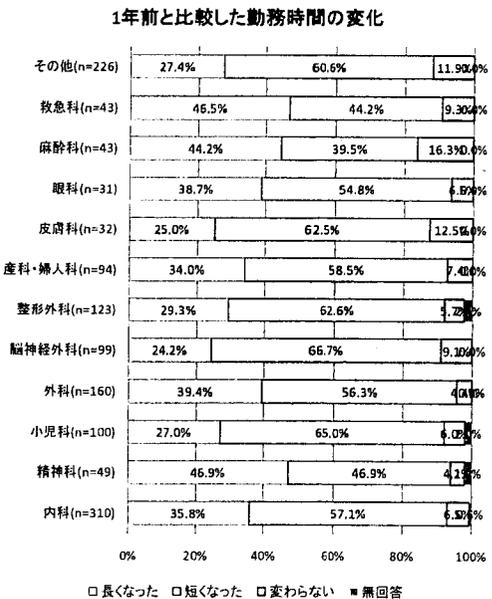
1年前と比較した医師個人の勤務状況の変化③

医師票

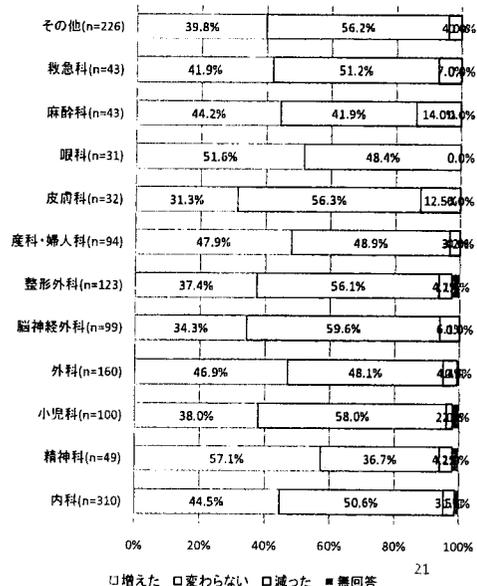


1年前と比較した医師個人の勤務状況の変化②

医師票

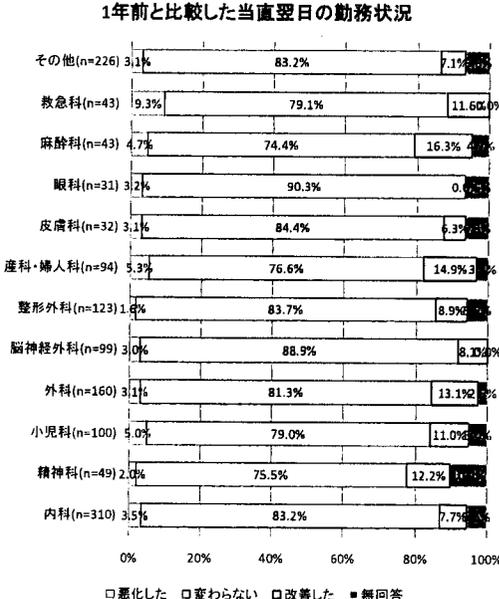


1年前と比較した時間あたりの業務量の変化



1年前と比較した医師個人の勤務状況の変化④

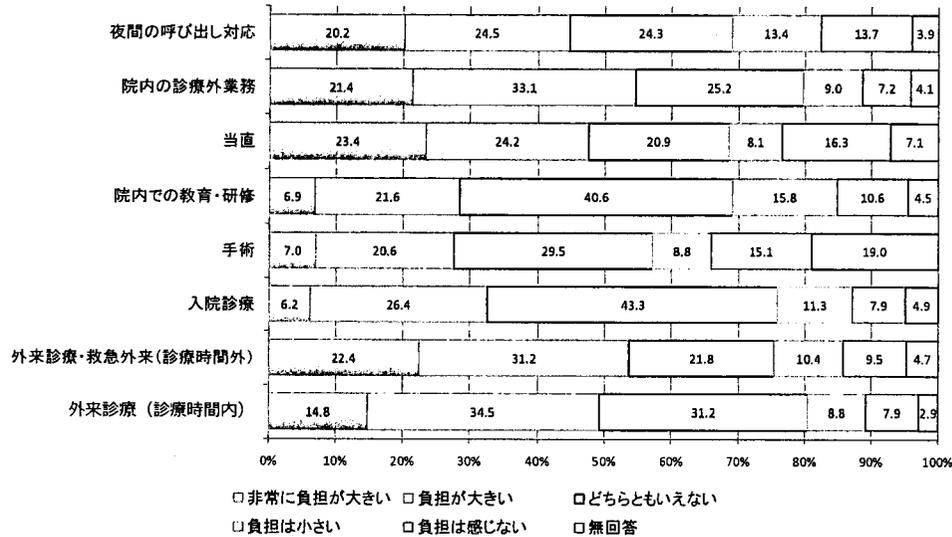
医師票



業務ごとの負担感

医師票

業務ごとの負担感(n=1,300)

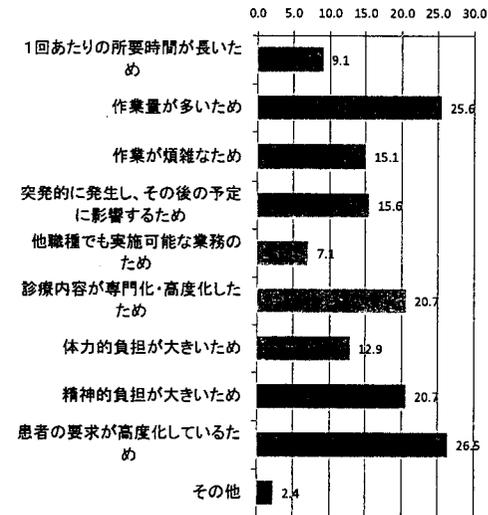


(医療課調べ)

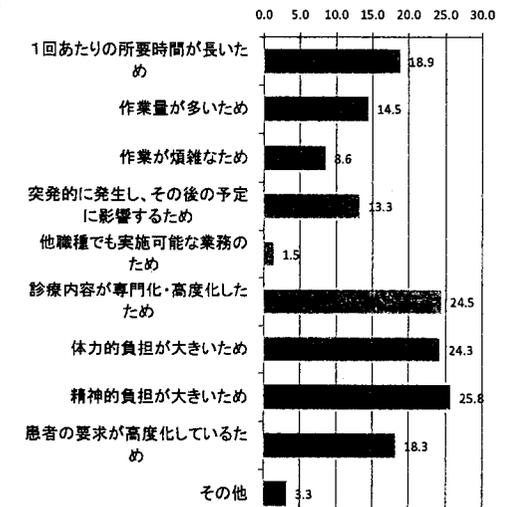
業務に負担感を感じる理由

医師票

入院診療(n=1,133)



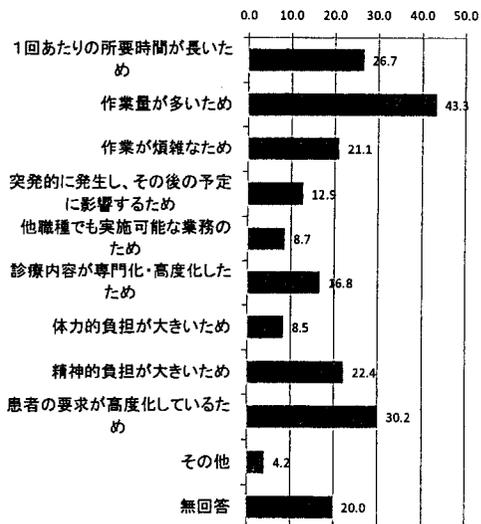
手術(n=857)



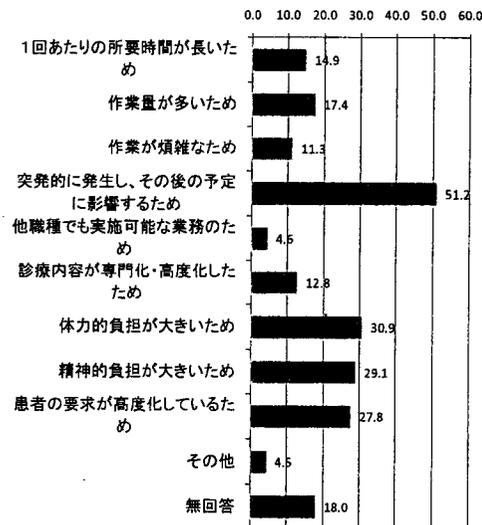
業務に負担感を感じる理由

医師票

外来診療(診療時間内)(n=1,159)

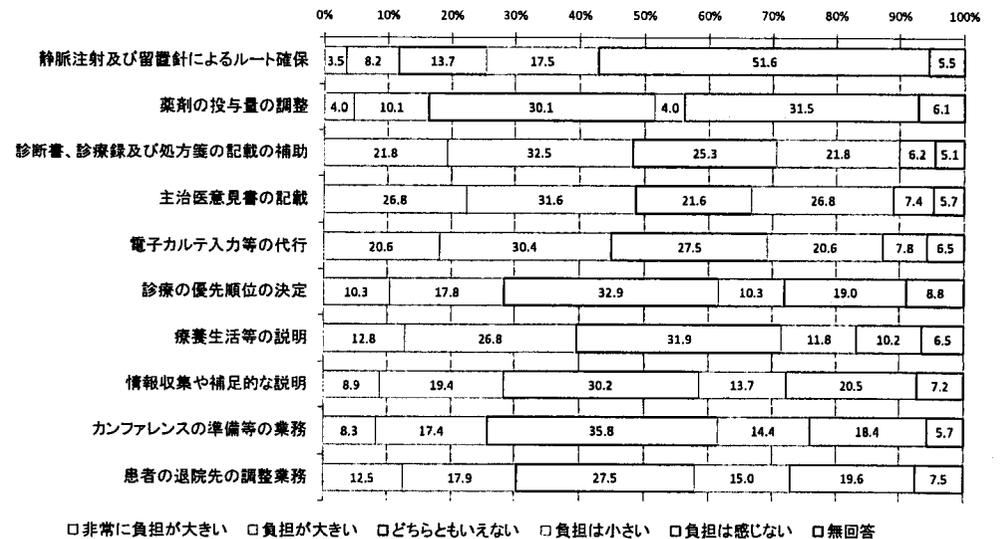


外来診療・救急外来(診療時間外)(n=1,115)



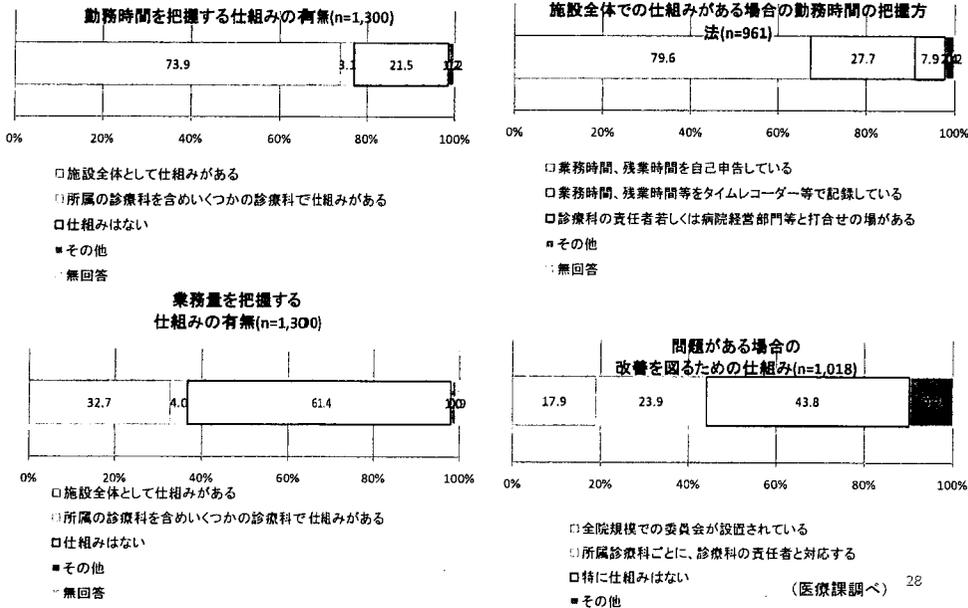
業務の内容ごとの負担感

業務の内容ごとの負担感(n=1,300)



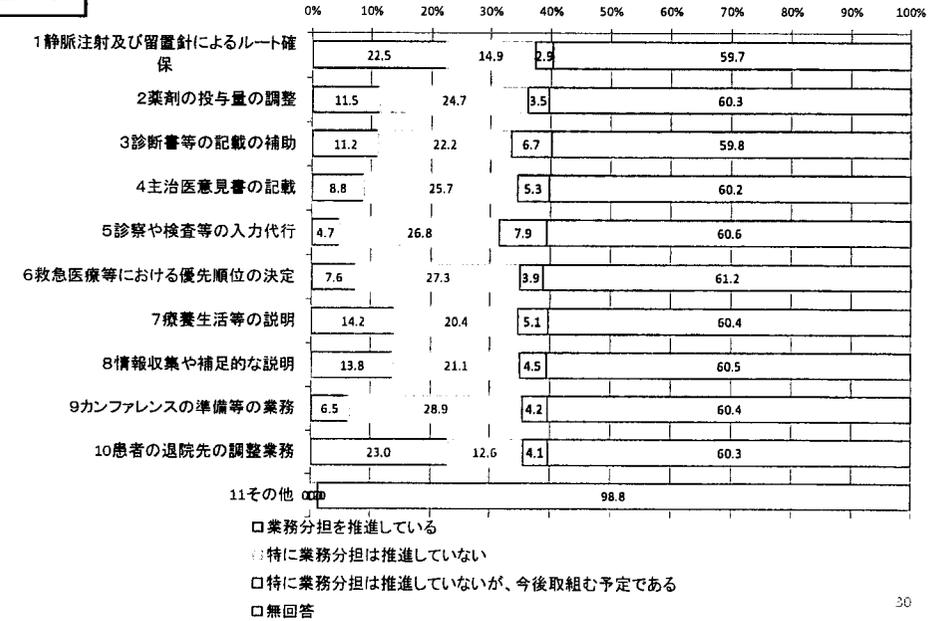
## 勤務医の負担軽減のための体制

医師票



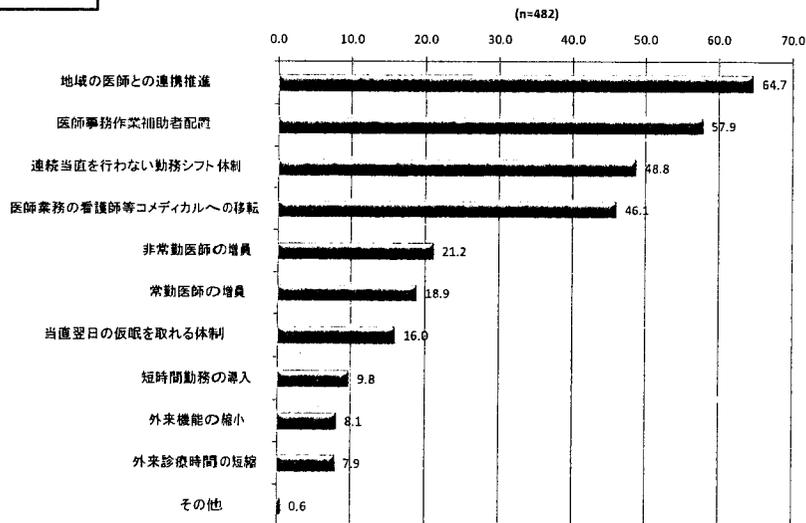
## 業務分担の実施状況

医師票



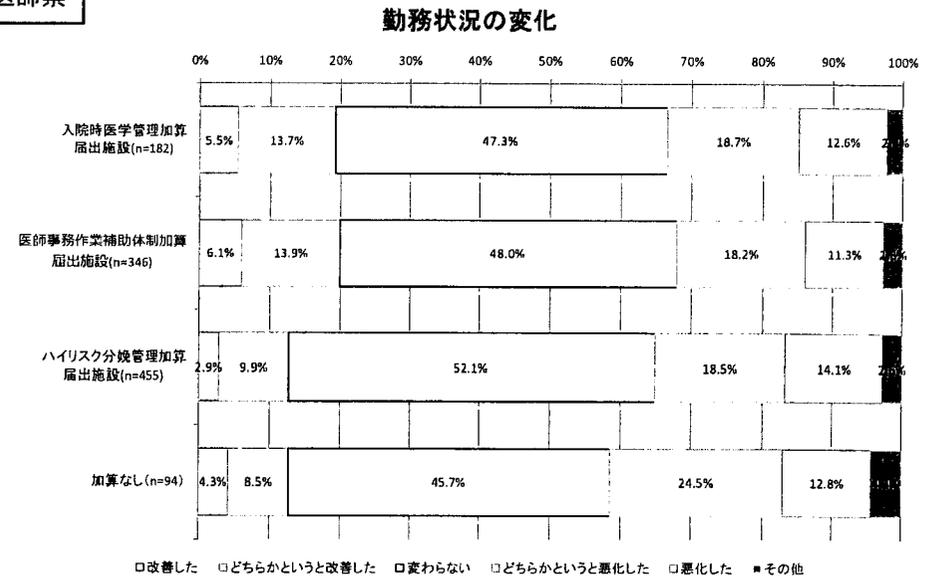
## 勤務医負担軽減のために取り組みを進めた項目

診療科責任者票



## 負担軽減に係る加算の有無別、病院勤務医の負担の変化①

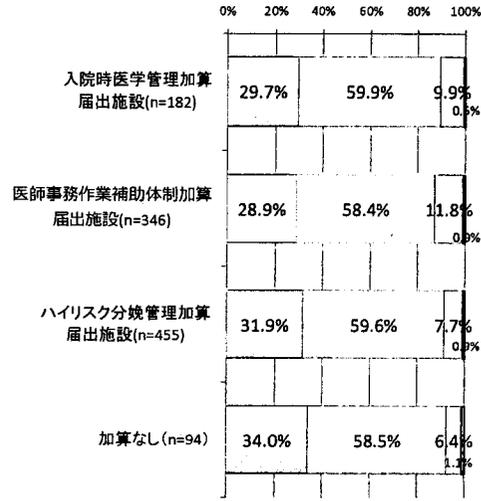
医師票



負担軽減に係る加算の有無別、病院勤務医の負担の変化②

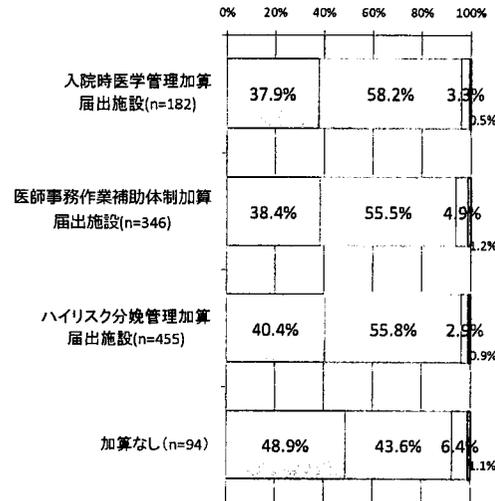
医師票

勤務時間の変化



□長くなった □変わらない □短くなった □無回答

時間当たりの業務量



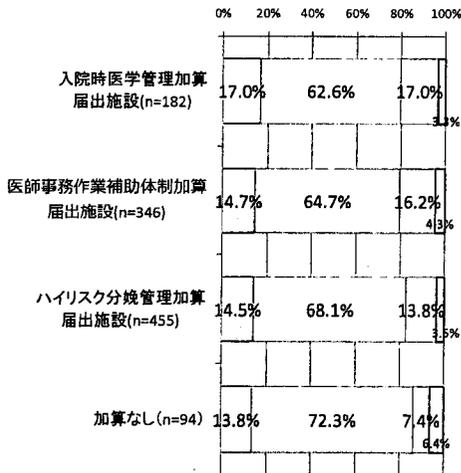
□増えた □変わらない □減った □無回答

「宿題事項について」

負担軽減に係る加算の有無別、病院勤務医の負担の変化③

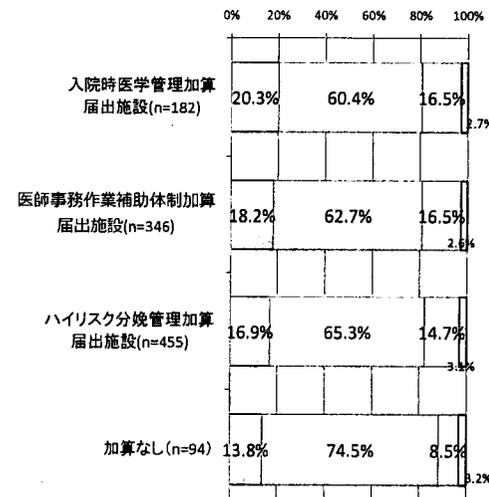
医師票

当直の回数



□増えた □変わらない □減った □無回答

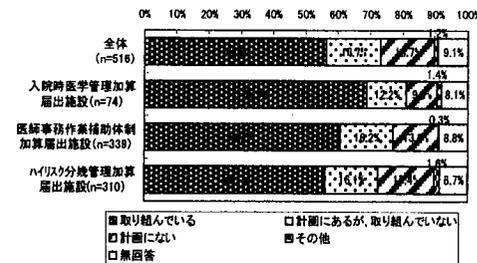
オンコールの回数



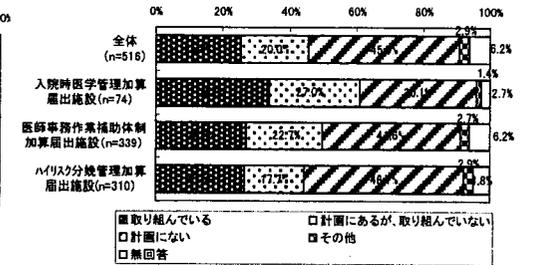
□増えた □変わらない □減った □無回答

入院時医学管理加算算定施設における勤務医負担軽減の取組

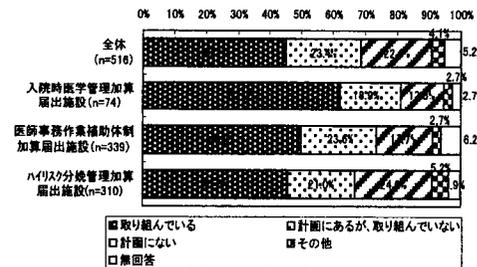
医師・看護師等の業務分担の取組状況



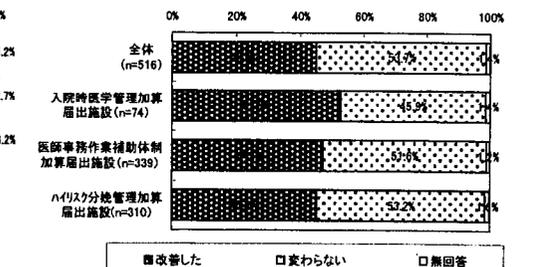
短時間正規雇用の医師の活用の取組状況



当直後の通常勤務に係る配慮の取組状況

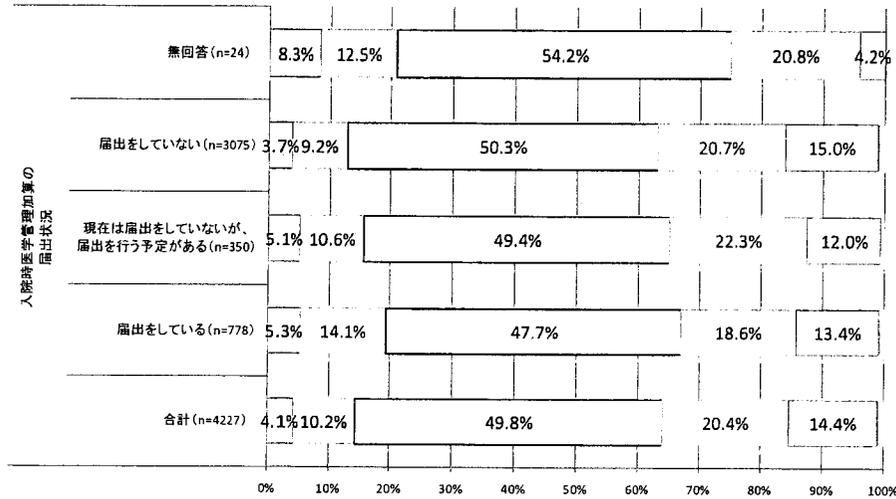


医師への経済面での処遇改善状況



入院時医学管理加算算定施設における勤務医負担の変化

1年前と比較した現在の勤務状況



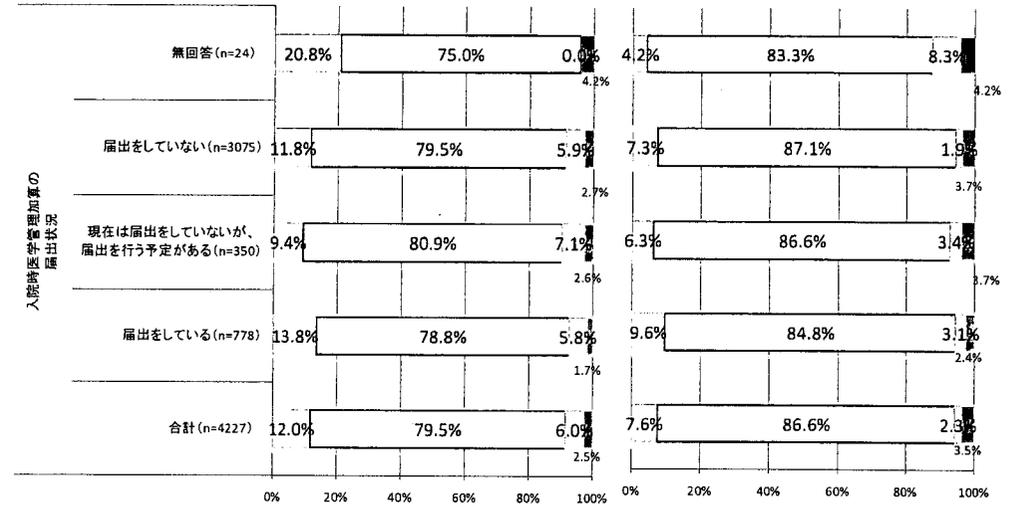
□良くなっている □どちらかという良くなっている □変わらない □どちらかという悪くなっている □悪くなっている ■その他 無回答

36 (平成21年度検証部会調査)

入院時医学管理加算算定施設における勤務医負担の変化

昇格以外の基本給の変化

手術・当直等の勤務手当の変化



□増えた □変わらない □減った ■無回答

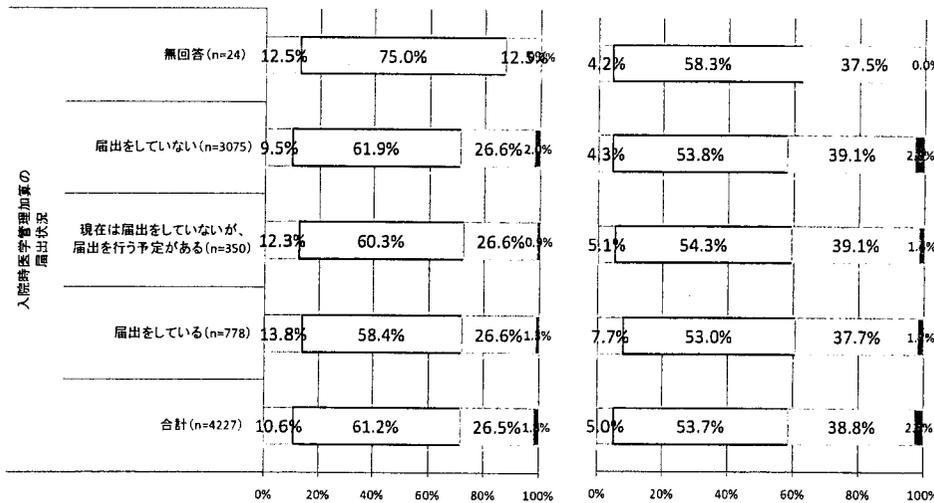
□増えた □変わらない □減った ■無回答

38 (平成21年度検証部会調査)

入院時医学管理加算算定施設における勤務医負担の変化

1年前と比較した入院診療に係る業務負担

1年前と比較した外来診療に係る業務負担



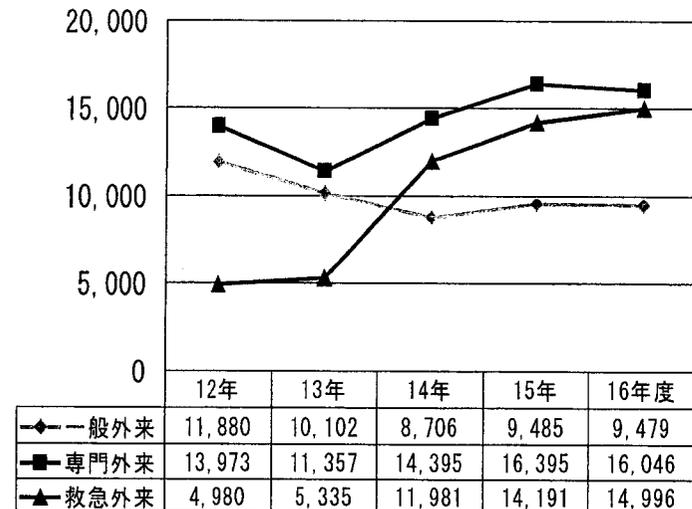
□軽減した □変わらない □増加した ■無回答

□軽減した □変わらない □増加した ■無回答

37 (平成21年度検証部会調査)

藤沢市民病院における小児科外来患者数の推移

● 小児科外来患者数の推移



(藤沢市民病院提供資料)